

第1回 ごみ減量市民会議 会議録	
開催日時	令和2年9月29日(火)10:00~11:30
開催場所	湖西市健康福祉センター 3階 小会議室
出席者	平井委員、寺内委員、疋田委員、前田委員、後藤委員、岡本委員、鳥居委員 (順不同)
事務局	影山市長、川上環境部長、山本課長、木下課長代理、置田、三浦、橋本、松本
傍聴者	6名
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 委員委嘱 4 自己紹介 5 委員長、副委員長の選任 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)ごみ処理施策の見直しについて (2)湖西市のごみ処理状況について (3)審議スケジュールについて 7 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1)第2回開催についての連絡 (2)その他事務局からの連絡 8 閉会
記録の方法	発言者の要点記録

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 委員委嘱

4. 自己紹介

5. 委員長、副委員長の選任

湖西市ごみ減量市民会議設置要綱の第 5 条の規定により、委員間の協議の結果、委員長は平井委員、副委員長は寺内委員となった。

《委員長、副委員長の選任後、市長は別公務のため退席》

委員長 みなさん、こんにちは。昨今、環境問題への取り組みとして、低炭素化社会の構築、循環型社会の構築、自然共生型社会の構築の 3 つのテーマがあげられています。今回の扱う「ごみ」についても、マイクロプラスチック問題や食品ロス問題など非常に身近な問題として注目されている状況です。今回のごみ減量市民会議は湖西市においても環境センターの再稼働という大きな転換期を迎えているなかで、委員の皆様にご貴重な意見を賜ることで今後の市民生活において重要な位置づけになると考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

6. 議事

委員長 ごみ処理の状況や課題について情報共有していくため、まず議事(1)と(2)について、事務局から説明をお願いします。

事務局 《資料 1-①から 1-⑤に基づき説明》

委員長 先ほどの事務局からの説明に対し、意見や質問はありますか？

委員 資料 1-①裏面、湖西市環境センター焼却施設の再稼働後の主な変更点について、今までリサイクルしていたものを熱量確保のために焼却をする方針に変更するという事でよいか？

事務局 収集したプラマーク品は、手作業で混入品の選別をした後に資源として出荷しているが、業者の処理が追い付かずたまっている現状がある。出荷されたプラマーク品の一部は焼却され熱回収されている。焼却施設再稼働後は、余熱をアメニティプラザで利用する予定なので、熱回収ということでのリサイクルはできる。

委員 プラマーク品の焼却の際、ダイオキシン等有害物質の問題は大丈夫か？

事務局 以前稼働していた時も環境基準値上の問題はなかったが、環境センター

の一部設備は最新のものに改修するので有害物質等の問題はないと想定している。

委員
事務局 ごみを燃やすときに排ガスなどの近隣住民の環境への影響はあるのか？
排ガス等の有害物質に対しては環境基準に対してかなり低い予測を出している。定期的な環境調査を実施し結果を市ウェブサイト等に公開していく予定。

委員長 ダイオキシンについては平成 14 年ごろに法律が整備された。750 度以上で燃やすことで毒性が分解できる。国内の焼却施設では 800 度以上で燃やすよう法律で定めている。湖西市の施設では 900～950 度程度で焼却する予定。ただし、ごみ焼却の技術は進歩しているが施設のコストも増加している現状がある。

委員
事務局 ごみ出しマナーについて、違反ごみが出たときは罰則を設けたり、回収しないなどの対応はしているのか？
違反ごみ警告シールを貼って、違反者へ分別しなおすよう促している。それでも放置されている場合は、1～2 週間後に市で回収している。違反ごみに対しては手間も時間もかかるので、違反ごみ減少のための意見をいただきたい。

委員 生ごみの減量がごみ減量のための大きな課題ととらえている。生ごみの割合等の把握はできているか？

事務局 市では家庭から排出されたごみの組成調査を実施しており、燃やせるごみの内訳としては、約半分が生ごみ、次いで 2 割が紙ごみということは把握できている。その結果を踏まえ、生ごみの水切りの啓発、生ごみ堆肥化容器購入の補助、生ごみ消滅容器「キエーロ」の提供などを行っている。

委員 自宅でキエーロを利用し、効果を実感している。のちの議題かもしれないが、キエーロについて広報誌、ウェブサイトでの PR に力を入れてみてはどうか。

委員長 今後の議題でも予定されているテーマなのでその際にも意見提供をお願いします。

委員
事務局 焼却施設の事故や地震、火災などの災害時の対応案はあるか？
災害時の廃棄物の処理については災害廃棄物処理計画にて定めている。また、施設の災害対策としても、耐震対策等の調査をしているので耐震性については確認ができています。運営についても PFI 事業での事業者を選定し、民間のモニタリングも行う予定。
また、現在は浜松市への運搬ルートに国道 1 号線を使用しており、地震や津波等で運搬経路が寸断される恐れがあることから、湖西市内で焼却をする方が災害時のリスクは低いと考えられる。

委員	分別変更後のごみの出し方についてはどうなる予定なのか？
事務局	燃えるごみ袋に入れて出してもらうことを想定している。ごみ袋のサイズを大きくするとごみステーションが溢れることが予想されるので、その対策を検討したい。
委員長	湖西地区と新居地区のように、市内で収集制度が異なる事例は珍しい。収集制度の違いについて今後どうするか？
事務局	湖西地区と新居地区で出し方が違うことで、ごみステーション設置場所の問題や、収集車両の制限が発生しており、改善したいと感じている。新居地区の方が違反ごみが少ない傾向があるので、統一するなら新居地区を参考にしていきたい。
委員長	事業系ごみが増加しているのは、他の市から入ってきているのではないか？他市とくらべて料金比較はどうか？
事務局	他市との処理料金体制の比較については、調査の上、次回会議にて情報提供します。
委員長	それでは、(3)審議スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料 1-⑥に基づき説明》
委員長	このスケジュール等について何か意見や質問はありますか？
	(意見、質問なし)
委員長	その他、何か意見や質問はありますか？
委員	ごみステーションの生ごみのおいが気になるので、皆さんの意見を参考に生ごみ対策に取り組みたいと思います。

7. その他

- ・次回開催予定 11/26(木)14:00～ 湖西市環境センターにて開催。
- ・開催通知は 2 週間前を目処に発送予定。併せて、次回の会議の資料を添付する。
- ・意見、質問等があれば 10 月 6 日までに事務局にメールかファックスにて受け付ける。

8. 閉会